

6月23日 沖縄慰霊の日

6月23日、太平洋戦争末期の沖縄戦などでの犠牲者を悼む「慰霊の日」を迎えました。当時アメリカが本土決戦の足掛かりとして沖縄に上陸する一方、日本は本土決戦を防ぐための「捨て石」として、沖縄を利用しました。学生にも軍事関連の協力を求める学徒動員が行われ、沖縄県民の4人に1人が犠牲になり、日米合わせて20万人以上が命を落としました。

戦後80年目を迎えるなか、今もなおロシアによるウクライナ侵攻や、イスラエルとイスラム組織ハマスの軍事衝突など、世界各国で罪のない多くの人々が犠牲になっています。日本においても、戦後本土にある米軍基地は縮小や移転がされてきましたが、そのしわ寄せは沖縄に向けられました。本土に復帰した昭和47年(1972年)当時は全国の米軍専用施設面積に占める沖縄県の割合は約58.7%でしたが、現在では国土面積のわずか約0.6%しかない沖縄県に、約70.3%にも及ぶ基地が集中しています。沖縄が「捨て石」にされている現状は、今も変わりません。

さまざまな世界情勢を足掛かりに軍事大国化や憲法改悪へと進む日本の現状を認識し、私たちが安心して暮らせる社会をつくるために、いまできることを考えましょう！！

新基地建設が進む辺野古海岸

平和な社会の実現に向けて行動しよう！！